

## 既往洪水の概要

洪水発生年月	真勲別地点 流域平均雨量 (mm/3日)	真勲別地点 観測流量 (m <sup>3</sup> /s)	名寄川流域 氾濫面積 (ha)
昭和48年8月	205	1,115	252
昭和50年8月	179	949	8
昭和56年8月	224	602	1,265
平成4年7月	114	547	10
平成6年8月	126	655	3
平成13年9月	179	732	2

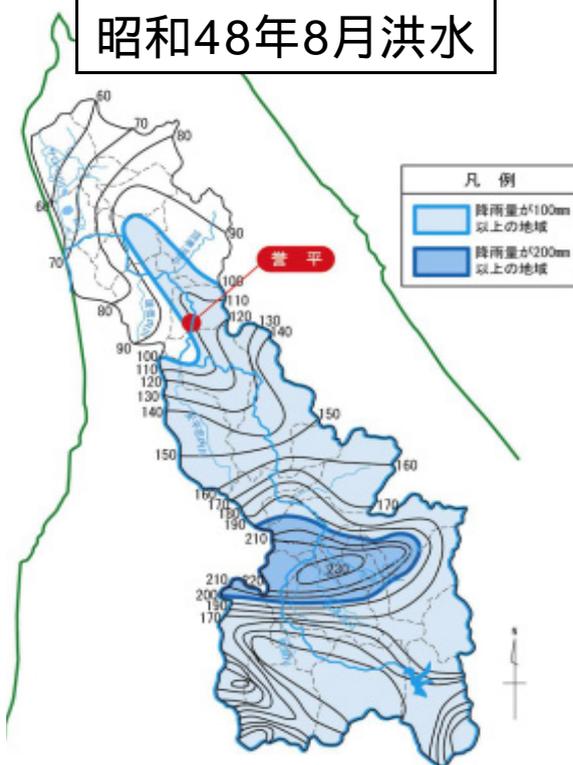
氾濫面積及び浸水家屋は水害統計(国土交通省河川局)による。

# 岩尾内ダムの調節効果量

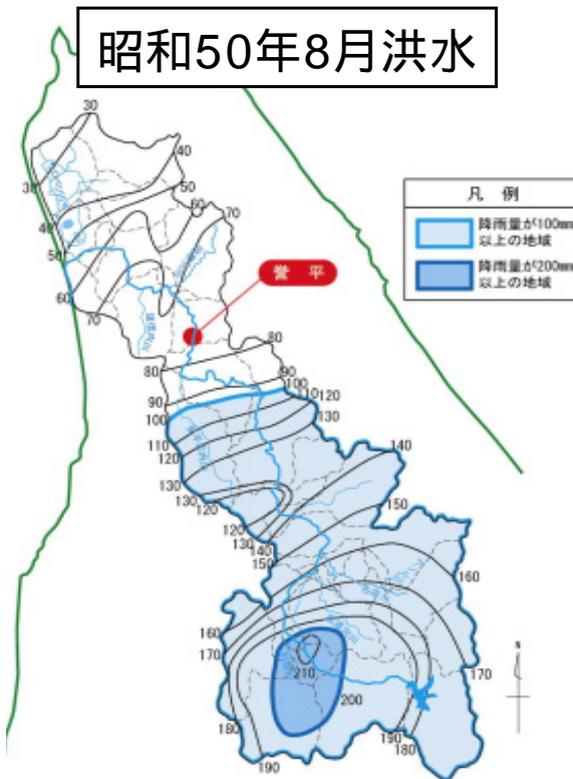
洪水名	誉平地点	岩尾内ダム地点
S48.8	98m <sup>3</sup> /s	161 m <sup>3</sup> /s
S50.8	216m <sup>3</sup> /s	275 m <sup>3</sup> /s
S56.8	26m <sup>3</sup> /s	143 m <sup>3</sup> /s

最大流入量と最大放流量の差(実績)

昭和48年8月洪水



昭和50年8月洪水



昭和56年8月洪水

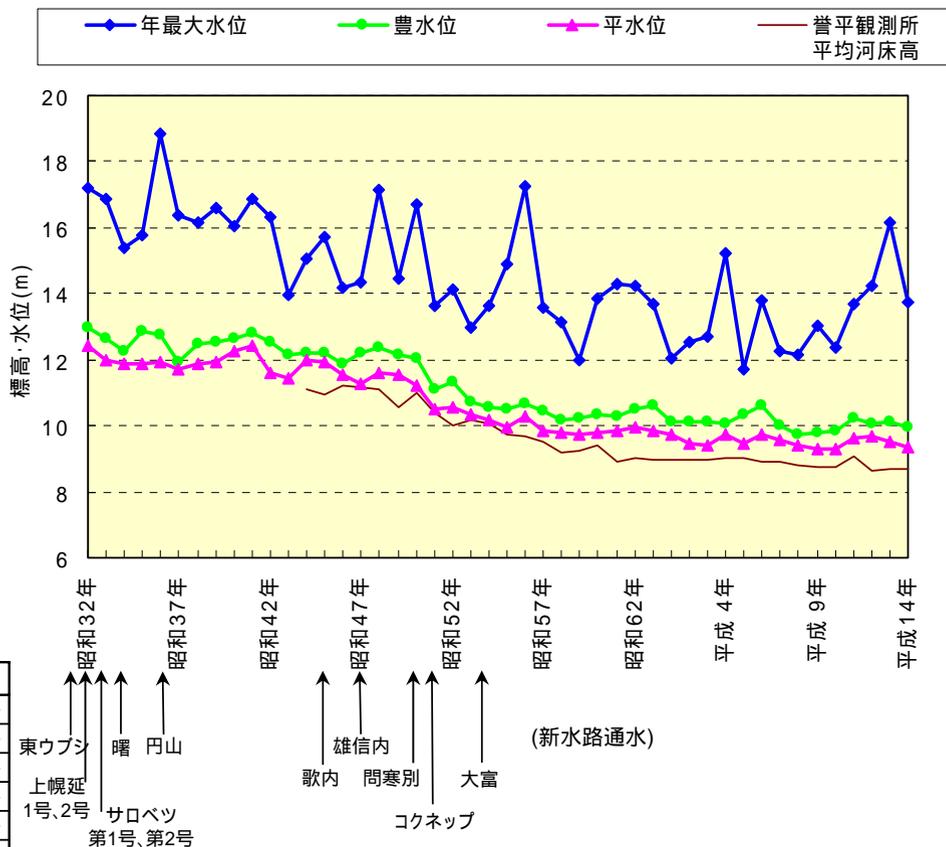


ショートカット(捷水路工事)は、洪水被害軽減のために蛇行箇所を切り替え、水位を下げ、洪水の流れをよくします。

捷水路工事箇所



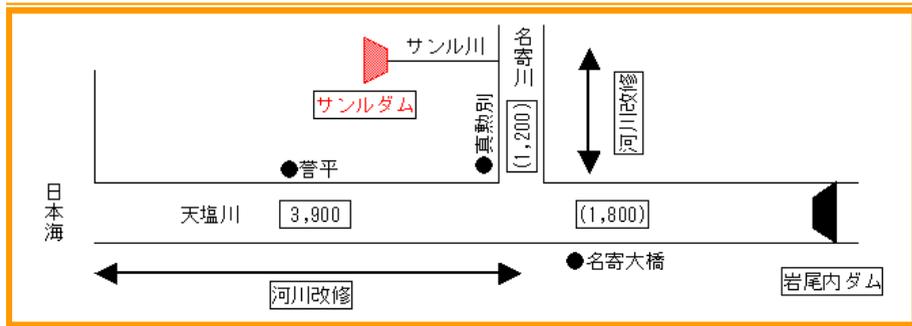
菅平における観測水位の変化



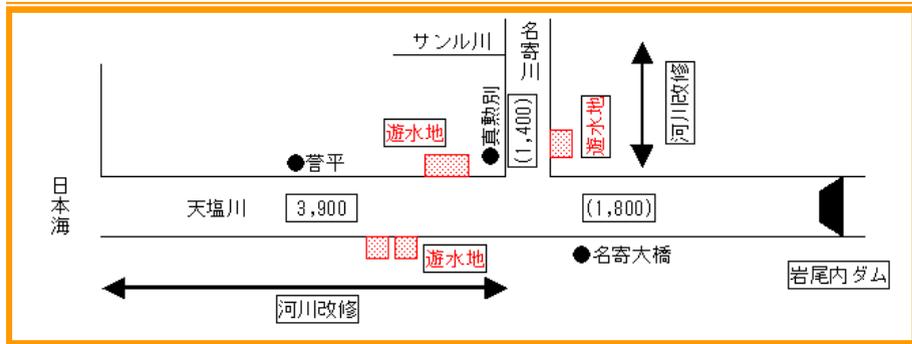
番号	新水路名称	着工年	通水年	番号	新水路名称	着工年	通水年
7	円山	昭和36年	昭和36年	14	中川第2	昭和22年	昭和25年
6	東ウブシ	昭和27年	昭和31年	13	中川第1	昭和22年	昭和25年
5	上幌延2号	昭和32年	昭和32年	12	大富	昭和52年	昭和54年
4	上幌延1号	昭和32年	昭和32年	11	歌内	昭和39年	昭和45年
3	曙	昭和34年	昭和34年	10	コクネップ	昭和46年	昭和51年
2	サロベツ第2号	昭和33年	昭和33年	9	問寒別	昭和48年	昭和50年
1	サロベツ第1号	昭和33年	昭和33年	8	雄信内	昭和45年	昭和47年

## 各治水対策案の概要

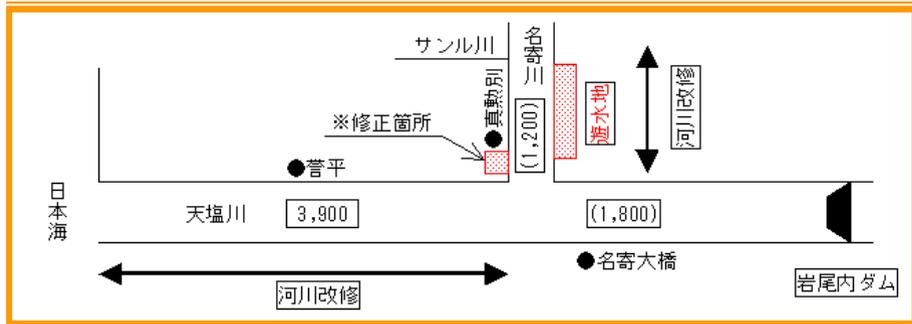
## ケース 1: サナルダム + 河川改修案



## ケース 2: 遊水地 (天塩川 + 名寄川) + 河川改修案



## ケース 3: 遊水地 (名寄川) + 河川改修案

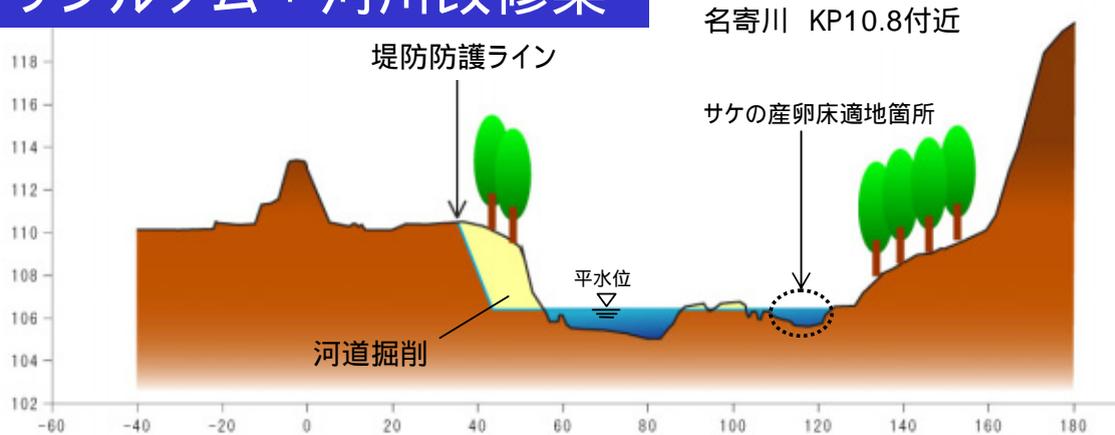


ケース	治水対策案	概要	高水流量配分			
			天塩川(菅平) Q=4,400m³/s		名寄川(真勲別) Q=1,500m³/s	
			河道	洪水調節施設	河道	洪水調節施設
ケース1	サンルダム + 河川改修案	<ul style="list-style-type: none"> <li>河道の分担流量を3,900m³/s、洪水調節施設による調節流量を500m³/sとする。</li> <li>洪水調節施設として、既設の岩尾内ダムの他に、新規にサンルダムを設置する。</li> </ul>	3,900	500 (岩尾内ダム) 200 サンルダム 300	1,200	300 (サンルダム) 300
ケース2	遊水地 (天塩川+名寄川) + 河川改修案	<ul style="list-style-type: none"> <li>河道の分担流量を3,900m³/s、洪水調節施設による調節流量を500m³/sとする。</li> <li>洪水調節施設として、既設の岩尾内ダムの他に新規に4遊水地(天塩本川3、名寄川1)を設置する。</li> </ul>	3,900	500 (岩尾内ダム) 200 遊水地 300	1,400	100 (遊水地) 100
ケース3	遊水地 (名寄川) + 河川改修案	<ul style="list-style-type: none"> <li>河道の分担流量を3,900m³/s、洪水調節施設による調節流量を500m³/sとする。</li> <li>洪水調節施設として、既設の岩尾内ダムの他に新規に10遊水地(名寄川10)を設置する。</li> </ul>	3,900	500 (岩尾内ダム) 200 遊水地 300	1,200	300 (遊水地) 300

# 河道掘削箇所と比較

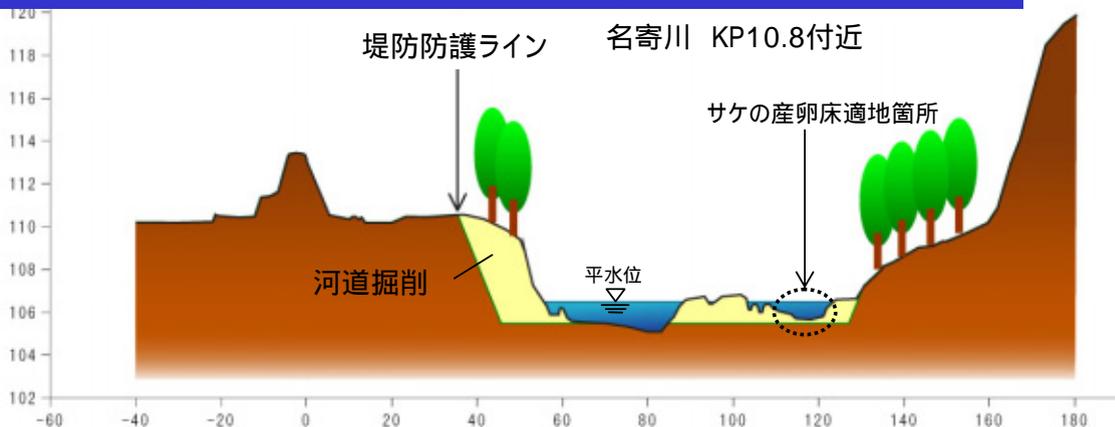
ケース2の場合では、河道掘削によりサケの産卵床が保全できない箇所が生じます。

## ケース1: サンプルダム + 河川改修案

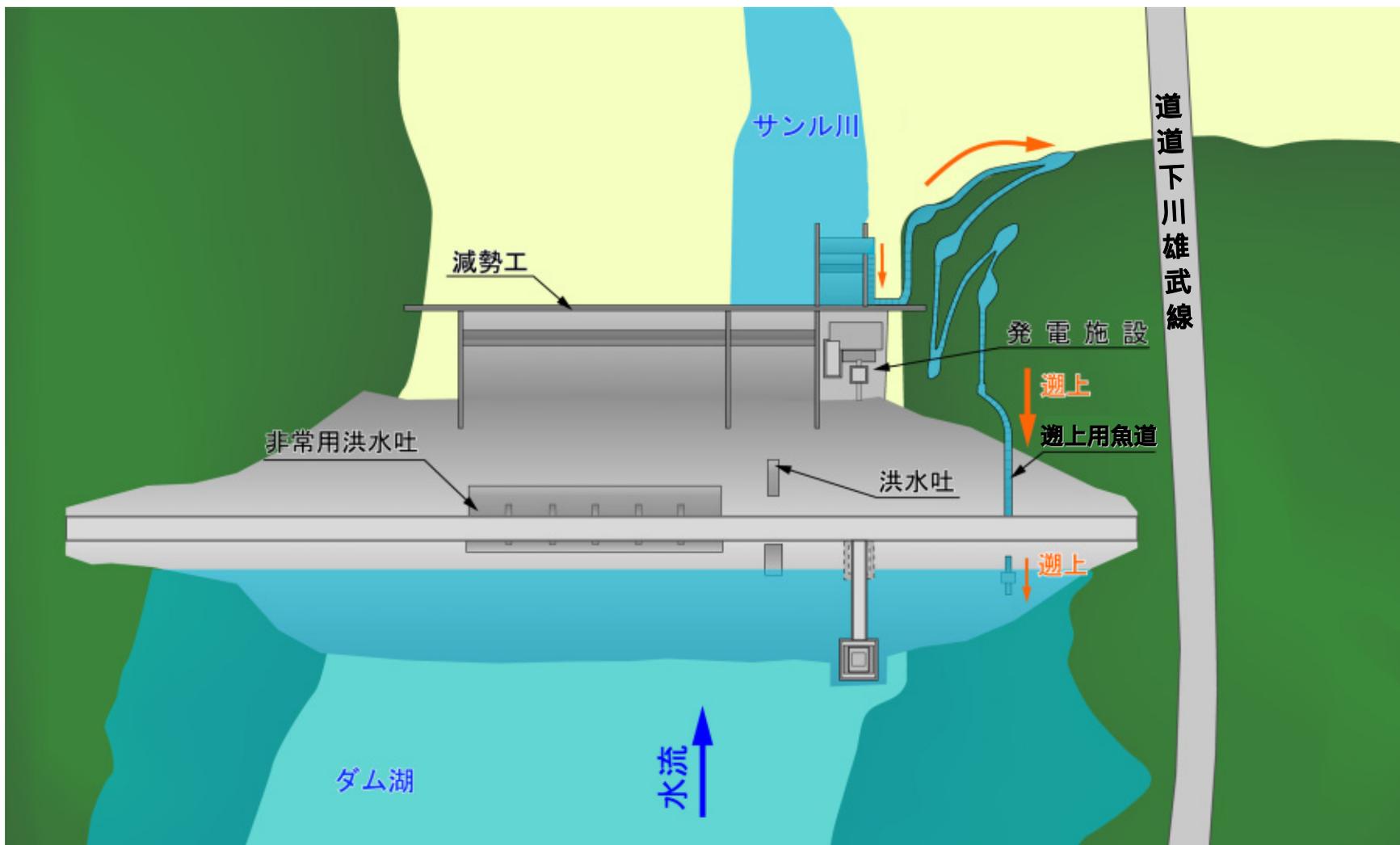


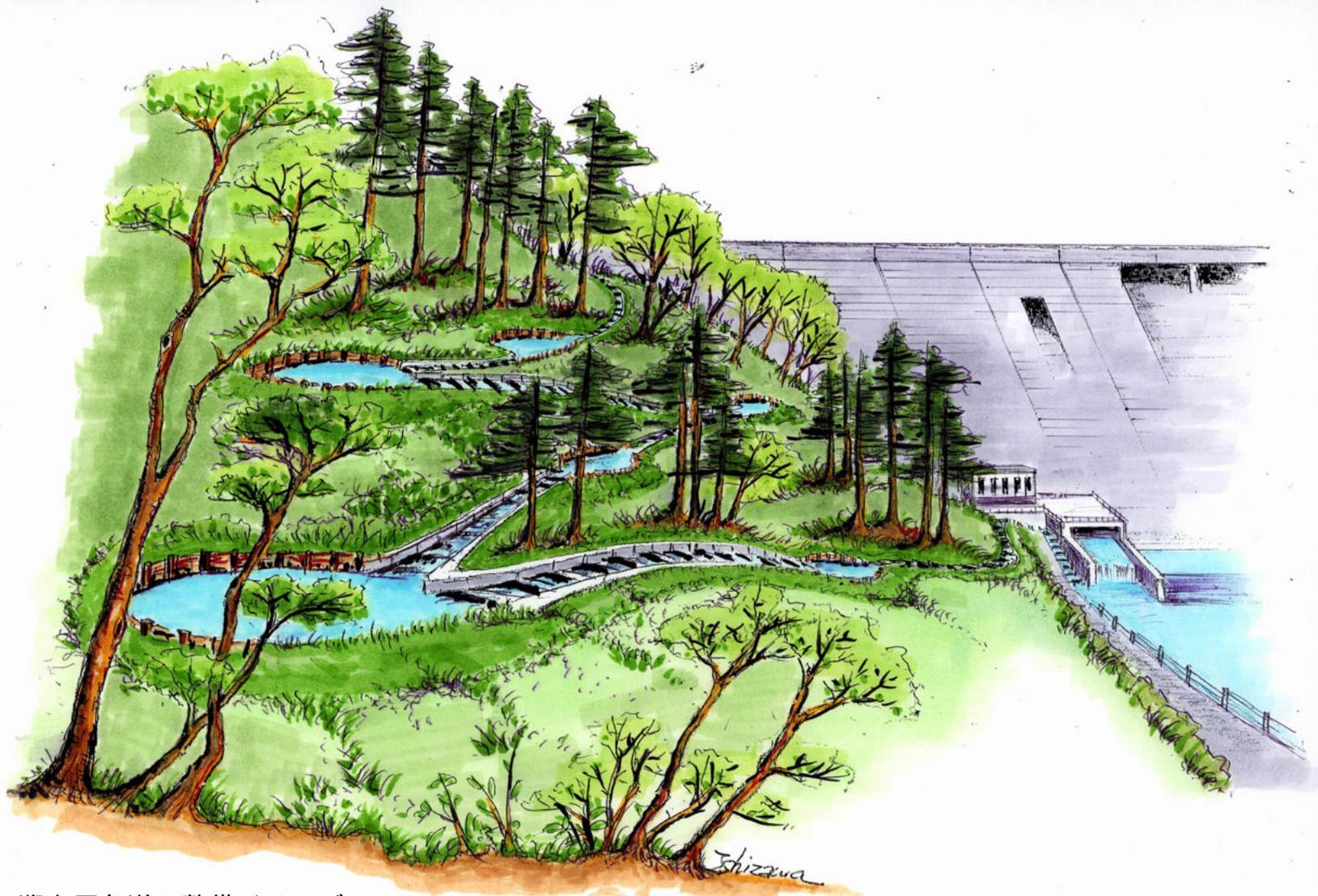
堤防防護ラインとは、洪水による侵食・洗掘に対する堤防の安全性を確保するために必要な高水敷幅を表したライン。

## ケース2: 遊水地(天塩川 + 名寄川) + 河川改修案



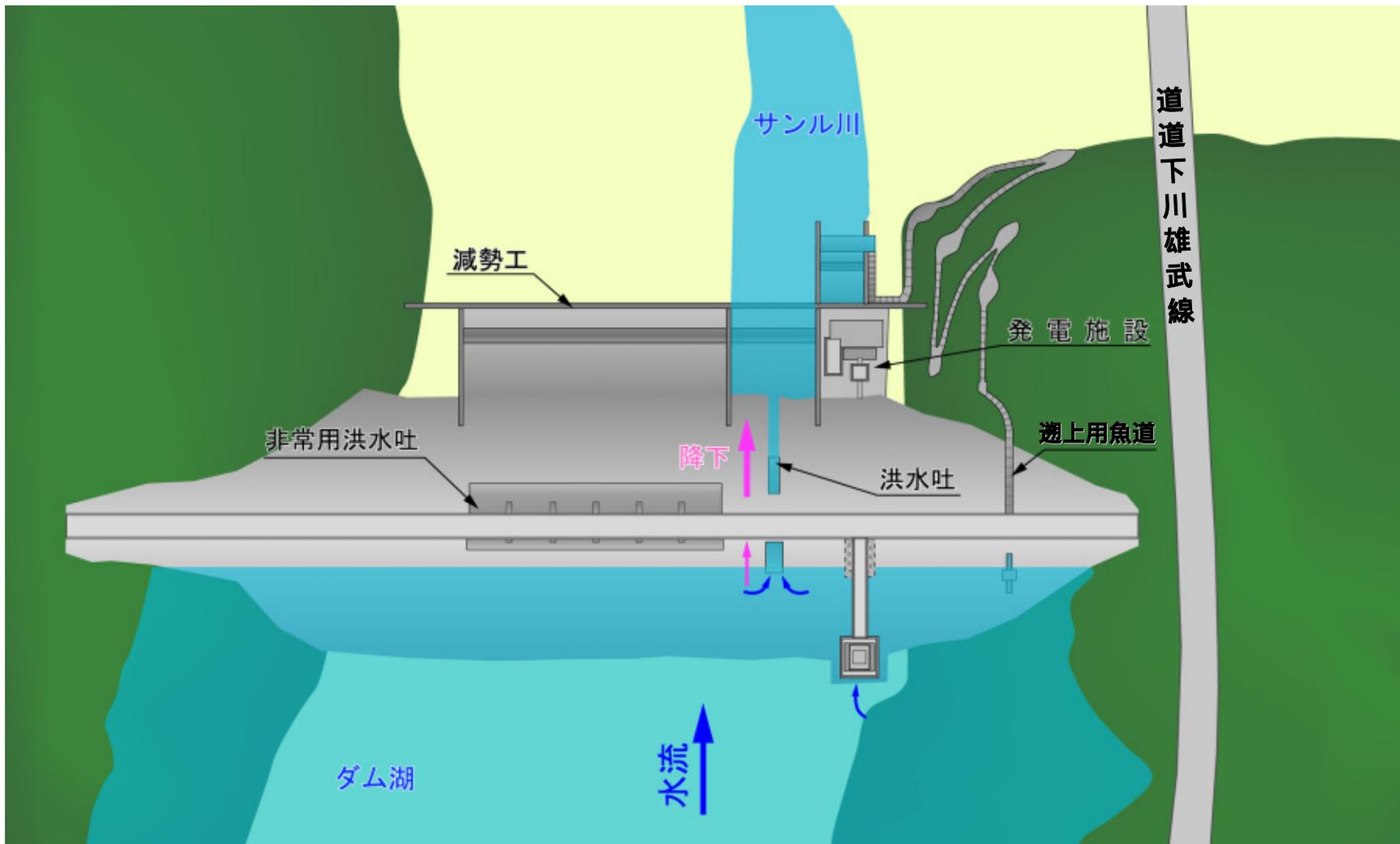
遡上対策として、親魚が遡上できるようダム堤体に遡上用魚道をつけます。





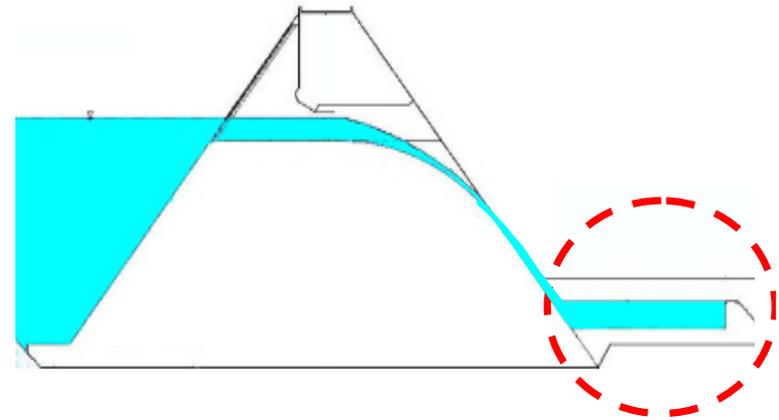
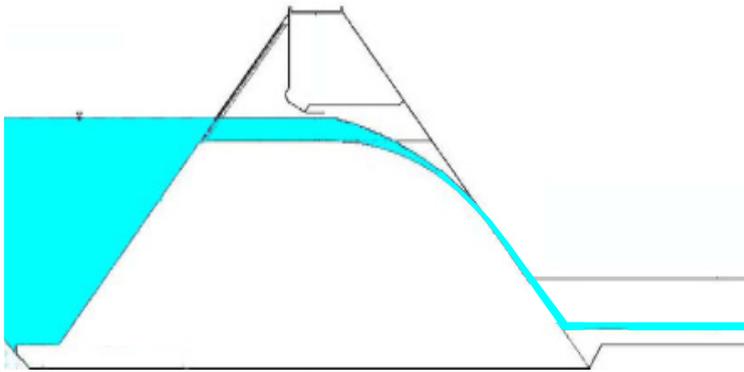
遡上用魚道の整備イメージ

常用洪水吐から降下することが可能。



降下魚の落下衝撃を緩和する水叩きプール

常用洪水吐き



その他の対策として、発電施設による降下魚への影響が少ない構造とします。